

壮瞥町地域公共交通確保維持改善協議会

平成23年4月19日設置



概要

壮瞥町の人口は、2,392人(令和4年1月1日現在-住民基本台帳)であり、うち65歳以上が977人(40.8%)、75歳以上が558人(23.3%)で、道平均(65歳以上32.3%、75歳以上16.5%)と比較しても高齢化が進行している地域である。

当町の公共交通は、道南バス(株)により9系統の地域間幹線系統が運行されており、また、平成24年5月に策定した「壮瞥町地域公共交通総合連携計画」を基に、平成25年10月から町内での生活支援及び伊達市までの通院支援として、コミュニティタクシーを当町の独自施策で運行をさせている。

一方で、壮瞥町地域公共交通総合連携計画策定時よりも、人口が著しく減少しており、また、自家用車から公共交通への転換も進んでいない中で、路線バスやコミュニティタクシーの利用者数も減少になり、今後の更なる高齢化社会への対応に向け、公共交通網の合理化が必要となっている。

○地域公共交通の現況

- ・道南バス(株)(9路線)
- ・コミュニティタクシー(2路線)
- ・スクールバス(3路線)
- ・タクシー(2事業者)

○地域公共交通の課題

- ・利用者数の低迷による公共交通網の合理化
- ・バスへの赤字補填経費や交通事業での人手不足

○調査の主な内容

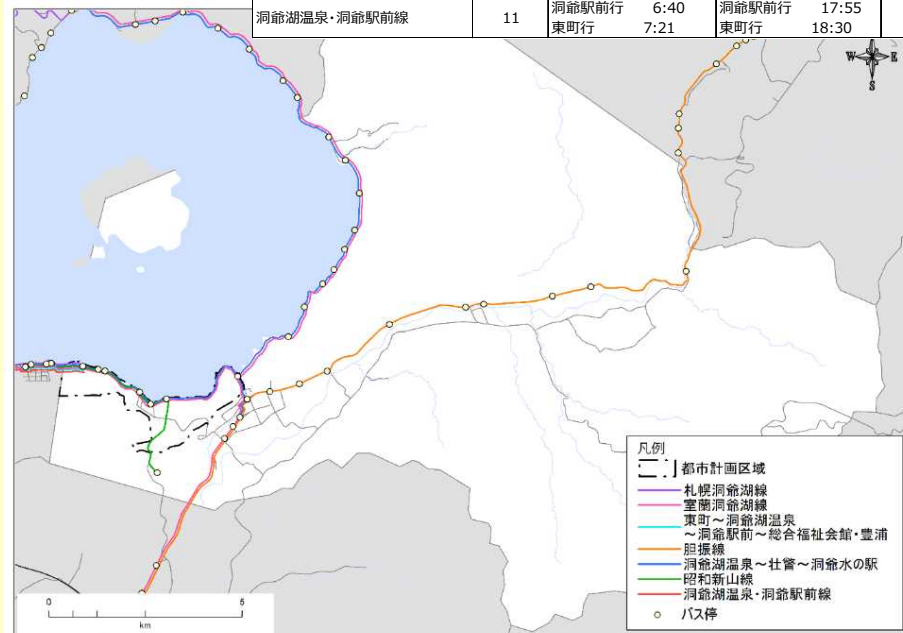
- ・現況交通実態調査(人口や公共交通運行状況など)
- ・町民ニーズ調査(生活行動の状況や公共交通ニーズなど)
- ・バス利用実態調査(利用目的、利用時間帯など)
- ・住民との意見交換会の実施

○地域公共交通確保維持改善協議会開催状況

- 令和5年1月13日 第1回協議会を開催(書面)
- ・現況整理、各種調査計画と進捗状況、事業進捗・評価について
- 令和5年3月 第2回協議会を開催予定
- ・町民ニーズ調査及びJR・バス利用実態調査結果等について

公共交通の概要

発着	便数 (便/日)	始発時刻	終発時刻	運行事業者	備考
札幌洞爺湖線	3	札幌駅方面 8:50 東町方面 10:10	札幌駅方面 17:05 東町方面 16:10	道南バス(株)	完全予約制
室蘭洞爺湖線	7~8	室蘭方面 6:55 洞爺湖温泉方面 6:20	室蘭方面 17:45 洞爺湖温泉方面 16:20		
東町~洞爺湖温泉~洞爺駅前~ 総合福祉館・豊浦	9	豊浦方面 7:20 東町方面 8:00	豊浦方面 17:55 東町方面 18:30		
胆振線	5	大滝方面 5:50 伊達駅方面 6:15	大滝方面 19:40 伊達駅方面 18:30		
洞爺湖温泉~壮瞥~洞爺水の駅	2	洞爺水の駅行 16:10 洞爺湖温泉行 6:55	洞爺水の駅行 19:50 洞爺湖温泉行 17:30		
昭和新山線	4	昭和新山行 9:20 洞爺湖温泉行 9:40	昭和新山行 15:50 洞爺湖温泉行 16:10	季節運行	
洞爺湖温泉・洞爺駅前線	11	洞爺駅前行 6:40 東町行 7:21	洞爺駅前行 17:55 東町行 18:30		

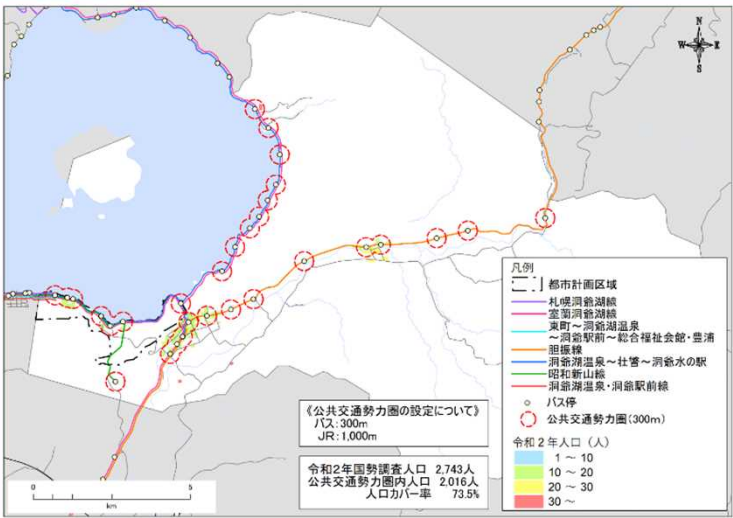


壮瞥町地域公共交通確保維持改善協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

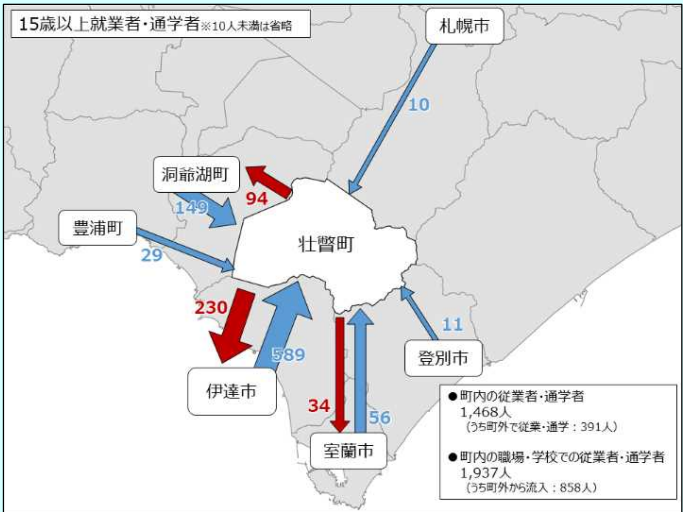
(1) 現況交通実態調査

- ・基礎データ(地勢、気候、道路網、人口、高齢化、交通データ、医療・買い物・公共施設データ等)の整理
- ・上位・関連計画等の整理



・令和2年度における人口に対する公共交通のカバー率は73%となっている

図: 人口分布及び公共交通のカバー率



・町内の従業者・通学者は1,468人であり、うち391人が町外で就業・通学している

・就業・通学先では伊達市が230人で最も多く、約6割を占めている

・町内の職場・学校での従業者・通学者は1,937人であり、うち、858人が町外から流入している

図: 壮瞥町における就業・通学の状況

(2) 町民ニーズ調査

- ・個人属性(性別、年齢、職業、住所、自動車及び免許の保有状況など)
- ・普段の外出行動(買い物、通院、私用における移動状況など)
- ・コミュニティタクシーの利用実態(登録状況、利用実態、満足度など)

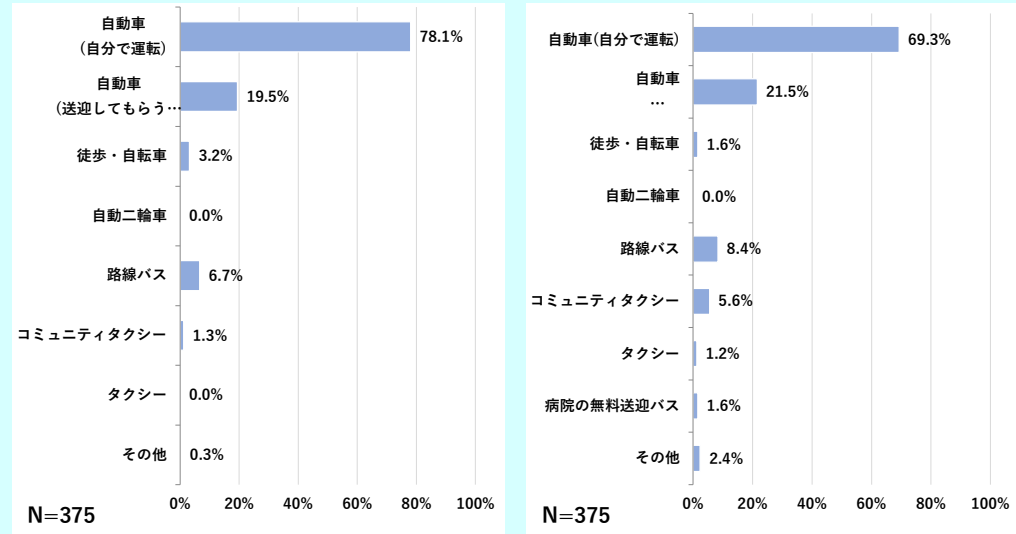


図: 買い物時の交通手段

図: 通院時の交通手段

・買い物、通院ともに自動車による移動が中心となっており、公共交通を利用するシーンが少ない

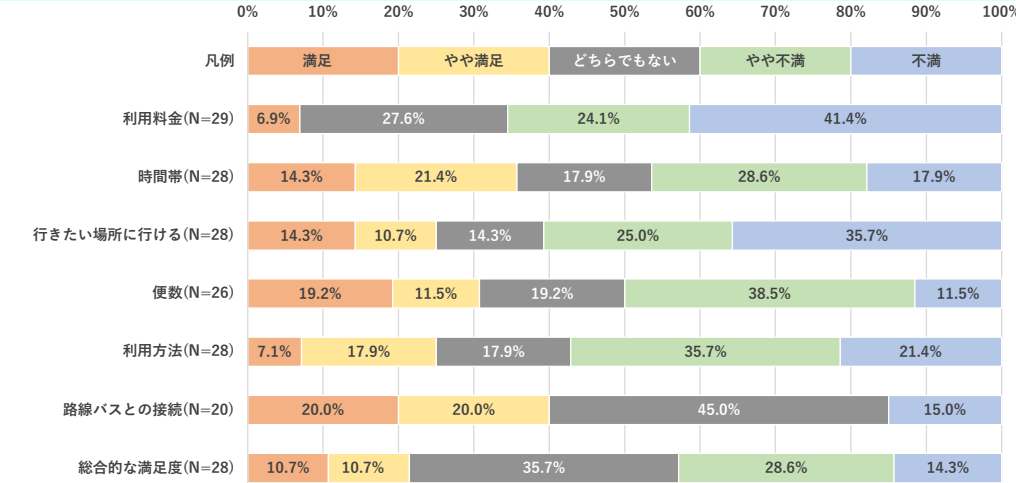


図: コミュニティタクシーの満足度

壮警町地域公共交通確保維持改善協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

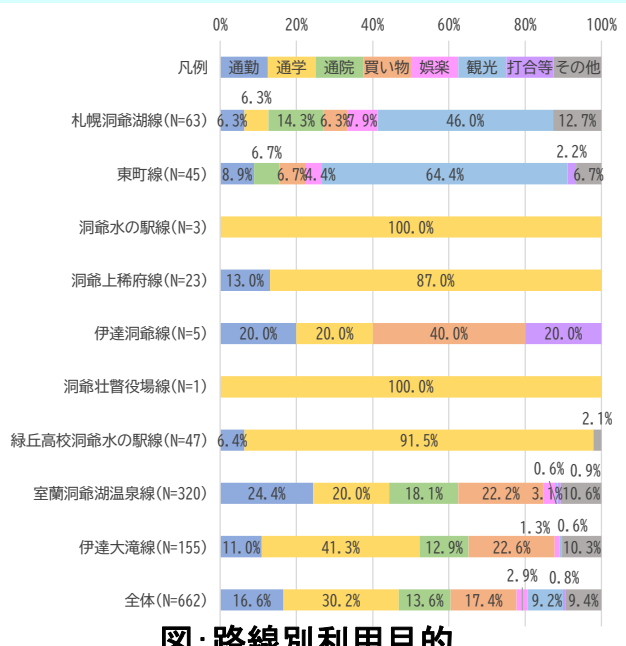
(3)バス利用実態調査

・道南バス株式会社が運行し、壮警町を通行するすべてのバス路線を対象に調査を実施



図：時間ごとの利用者数

- ・1便当たりの利用者数は時間帯別にバラツキが見受けられる
- ・洞爺湖町とを結ぶ路線バスは東町線など利用者数が非常に少ない路線があり、特に壮警町内では利用されていない
- ・一方で伊達市とを結ぶバス路線は壮警町内での利用者も多い
- ・洞爺上稀府線、緑丘高校洞爺水の駅線、伊達大滝線などは通学目的の利用が多く、札幌洞爺湖線、東町線は観光利用が多くなっている



図：路線別利用目的

表：便との利用者数 ※()内の数字は壮警町内の利用者数

路線名	発地	着地	発時刻	着時刻	乗車人数	小計	合計
札幌洞爺湖線	札幌駅前	東町	10:05	12:55	10	17 (1)	23 (1)
			14:10	16:55	6(1)		
			16:10	19:05	7		
	東町	札幌駅前	12:05	14:50	0	5	
	豊浦しおさい前	札幌駅前	17:05	19:50	5		
			8:50	12:10	1	1	
東町線	ふる里総合福祉会館前	東町	8:00	8:34	2	13	21 (3)
			10:40	11:14	1		
			12:05	12:39	9		
			16:53	17:25	1		
	洞爺駅前	東町	9:40	10:05	2	4 (1)	
			12:55	13:20	0		
			14:20	14:47	2(1)		
			15:35	16:00	0		
			18:30	18:55	0		
	東町	ふる里総合福祉会館前	7:20	7:55	0	4 (2)	
			10:00	10:35	4(2)		
			11:15	11:50	0		
			16:00	16:33	0		
	東町	洞爺駅前	8:52	9:18	0	0	
			12:00	12:28	0		
			13:30	13:56	0		
			14:45	15:11	0		
17:55			18:21	0			
洞爺水の駅線	洞爺湖温泉	洞爺水の駅	19:50	20:37	1	3	5
	洞爺水の駅	洞爺湖温泉	17:30	18:17	2(2)	2(2)	(2)

路線名	発地	着地	発時刻	着時刻	乗車人数	小計	合計
洞爺上稀府線	上稀府	洞爺湖温泉	7:40	8:40	27(24)	27(24)	27(24)
伊達洞爺線	伊達駅前	洞爺湖温泉	15:25	16:10	7(4)	7(4)	7(4)
洞爺壮警役場線	洞爺湖温泉	壮警役場前	7:07	7:22	1(1)	1(1)	1(1)
	壮警役場前	洞爺湖温泉	7:25	7:40	0	0	
緑丘高校洞爺水の駅線	洞爺水の駅	伊達緑丘高校前	6:55	8:12	32(15)	32(15)	54(23)
	伊達緑丘高校前	洞爺水の駅	16:10	17:25	22(8)	22(8)	
室蘭洞爺湖温泉線	洞爺湖温泉	室蘭駅前広場	7:50	10:12	49(9)	238 (37)	431 (56)
			10:00	12:22	57(3)		
			12:15	14:37	24		
			14:35	16:57	38(5)		
			16:25	18:47	40(11)		
	広域センタービル	洞爺湖温泉	17:45	20:07	30(9)	193 (19)	
			10:30	12:55	59(5)		
			12:40	15:05	37		
			14:40	17:05	65(8)		
			16:20	18:45	32(4)		
伊達大滝線	伊達駅前	大滝本町東団地	8:00	9:01	14(14)	56 (34)	128 (88)
			11:00	12:01	14(6)		
			14:05	15:06	11(2)		
			16:55	17:56	11(4)		
			19:40	20:41	20(14)		
	大滝本町東団地	伊達駅前	6:11	7:12	11(10)	72 (54)	
			6:44	7:45	22(12)		
			9:16	10:17	22(15)		
			12:11	13:12	5(3)		
			15:14	15:16	14(14)		
18:01	19:02	3(3)					

壮瞥町地域公共交通確保維持改善協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

	現状・問題点	課題の整理	基本方針	基本目標
人口 都市構造	人口減少・少子高齢化 ・R2年には人口2,743人に対してR27年には1,619人の予測 ・R2年には高齢化率46%に対してR27年には55%の予測	コミュニティタクシーの維持 ・地域内の自由度の高い交通として、更に広域的な通院支援としてコミュニティタクシーを維持するための改善と利用者の確保	未来へつなぐ持続可能な公共交通体系の実現	①：町内移動を支える公共交通の維持・改善 具体的内容は令和5年度に検討
	人口分布 ・滝之町に集中しているが、温泉地等にも広域に人口が分散	地域間幹線系統の見直し 町民の生活圏を踏まえた地域間幹線系統の見直し		②：町内交通と広域交通とのシームレスな移動の確保 具体的内容は令和5年度に検討
路線バス	通勤通学実態 ・伊達市とのつながりが強く、そのほか洞爺湖町も含めて流入機会が多くなっている	自動車からの転換 自動車に依存しない安心・安全な移動を支援する公共交通体系の構築や支援策の検討		③：利用実態・生活実態を踏まえた、広域移動の維持・改善 具体的内容は令和5年度に検討
	路線バス利用者(洞爺方面)の低迷 ・洞爺湖畔とを結ぶ路線は利用者が低迷している ・観光路線としての位置づけが強く、新型コロナウイルス感染症による影響が大きい	利便性の高い公共交通の利用促進 ・コミュニティタクシーの利便性に係る広報活動 ・広域移動と地域内移動の接続性(多様な可能性)のPR		④：町内公共交通の持続的な運行に向けた利用促進策の実施 具体的内容は令和5年度に検討
コミュニティタクシー	路線バス利用者(伊達方面)の確保 ・伊達方面とのつながりが強く、特に通学目的の利用者中心となっているため、維持が必要	乗継利便性の向上 ・町内交通と広域交通の乗継利便性や待合環境の整備・改善によるシームレスな環境の形成が必要		
	重要な位置づけ ・コミュニティタクシーは地域内を自由に移動できる公共交通であり伊達市への通院としても活用されており重要性が高い	利用者目線で利用し易い公共交通 ・買い物移動など利用者のための移動支援としての公共交通体系の構築による利用者数の確保と収入の確保		
アンケート	利用者の低迷 ・利用者数が減少しており、更にドライバーが不足しているため、行政の補助だけでは維持することが困難である	わかりやすい情報提供 ・路線バス、コミュニティタクシーなどの多様な交通手段について、高齢者でも利用しやすい環境づくりが必要		
	車移動からの転換が困難 ・80歳以上でも運転したいと回答しており、自動車からバスへの転換は困難な状況			
乗降調査	コミュニティタクシーは買い物需要がある ・コミュニティタクシーへの不満として行きたい場所に行けないとの回答があり、需要に応じきれていない			
	路線バス ・広域交通である路線バスは便数に対する不満が高くなっているものの利用者数が少なく増便は困難である ・札幌洞爺湖線は待合空間に対する不満が比較的高くなっている			
	時間帯別利用者数 ・時間当たりの利用者数が1便平均ではバラツキがあり、需要に応じた供給になっていない可能性がある			

壮瞥町地域公共交通確保維持改善協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【基本方針】「未来へつなぐ持続可能な公共交通体系の実現」

- ・町民が利用し易く、主体的に考えて利用する環境づくりを目指す。
- ・未来へつなげる公共交通として、広域交通と地域内交通の見直し、再構築により持続可能な公共交通体系を実現する。

【基本目標と内容(案)】

- ①: 町内移動を支える公共交通の維持・改善
 - ・コミュニティタクシーの利便性向上策の検討(目的地の明確化)
 - ・免許返納者への支援制度など、自動車からの転換機会の向上
- ②: 町内交通と広域交通とのシームレスな移動の確保
 - ・町内交通と広域交通との時間的接続の改善
 - ・乗継ポイントにおける待合空間の改善
- ③: 利用実態・生活実態を踏まえた、広域移動の維持・改善
 - ・選択と集中による持続可能な広域交通の維持
 - ・アフターコロナを見据えた観光客に配慮した移動支援策の検討
- ④: 町内公共交通の持続的な運行に向けた利用促進策の実施
 - ・住民との意見交換会の実施
 - ・町民向けのバスマップ・時刻表の作成
 - ・バスロケーションシステム等の導入検討

●事業実施の適切性

計画通り、事業は適切に実施された

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定の際は、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。